



校報 ふたつい

◇みんな仲良し 夢ある子ども◇
ふたつ天好き、ふれ合いまえる子
たのしく学び、考えを子
つよい心で、やさしい子
いつもすこやかに、元気な子

発行責任者
二ツ井小学校
校長 安部芳幸

お子さんとの会話はどれくらいでしょうか？ 家庭での会話を大切に ～コミュニケーション能力を高めるために～



最近、子どものコミュニケーション能力の低下が問題になっていています。その理由の1つは、「超便利社会」の発展です。昔は買物をするときは店員とのコミュニケーションが当たり前で、現代では「超便利」になったトで一言も発せずに買物ができる時代です。また、もう一つの理由は、テレビや携帯、ゲームなどの電子機器の使用です。このことについて、「子どもたちからコミュニケーションを奪う、もしくはコミュニケーションをしようとする意欲を奪うもの」であると、非常に恐怖を感じている研究者もいます。

「超便利社会」の発展です。昔は買物をするときは店員とのコミュニケーションが当たり前で、現代では「超便利」になったトで一言も発せずに買物ができる時代です。また、もう一つの理由は、テレビや携帯、ゲームなどの電子機器の使用です。このことについて、「子どもたちからコミュニケーションを奪う、もしくはコミュニケーションをしようとする意欲を奪うもの」であると、非常に恐怖を感じている研究者もいます。

「超便利社会」の発展です。昔は買物をするときは店員とのコミュニケーションが当たり前で、現代では「超便利」になったトで一言も発せずに買物ができる時代です。また、もう一つの理由は、テレビや携帯、ゲームなどの電子機器の使用です。このことについて、「子どもたちからコミュニケーションを奪う、もしくはコミュニケーションをしようとする意欲を奪うもの」であると、非常に恐怖を感じている研究者もいます。

発見！ みんな仲良し 夢ある子ども 15

三学期が始まってまだ一週間ですが、とても嬉しいことがあります。それは、あいさつです。それも、ただのあいさつではなく、会話をしながらあいさつをする子どもが増えています。毎朝、学校の玄関前で、校務員の金子さんと登校してくる子どもたちにあいさつをしています。三学期が始まってまだ一週間ですが、とても嬉しいことがあります。それは、あいさつです。それも、ただのあいさつではなく、会話をしながらあいさつをする子どもが増えています。毎朝、学校の玄関前で、校務員の金子さんと登校してくる子どもたちにあいさつをしています。



全校集会で「三学期は次の学年の準備の学期」というお話や、「当たり前前」のことを当たり前に行うことが成長につながるというお話をしました。もしかしたら、次の学年に向けて、意識を高め行動している子どもたちが増えているのかもしれない。



地域の行事や公園、駅前で開催されるイベントなど、様々な人と触れ合える場に出かけてみましょう。その際、子どもだけにコミュニケーションを促すのではなく、親の私たちが積極的に声をかけてコミュニケーションを図るようにします。

ストリングアートって何？

みなさんは「ストリングアート」をご存じでしょうか。ストリングアートとは、糸を使うアートで、流木等に釘を打ち、糸をかけて、看板や表札、ウェルカムボードを作ります。先日、本校のさわやかルームで作ったウェルカムボードが飾られました。本校の勤務していらっしゃる先生（心の教室相談員）がストリングアートを指導してくれました。冬休み中に作ったのですが、以前「我が家の表札も作ってほしい」という声も聞かれました。さわやかルームは相談員がストリングアートを指導してくれました。冬休み中に作ったのですが、以前「我が家の表札も作ってほしい」という声も聞かれました。



あともがき

今年のお正月は、二年前ぶりに家族みんながそろいました。食卓を囲んで子どもたちが小さかったころの昔話で盛り上がりました。「あのときお父さんが…」と、「どうしてお母さんは…」と、子どもはよく昔のことを覚えています。「そんなことあったっけ？」と聞くと、「都合悪いから忘れたふりしている」と言い返されました（でも、本当に覚えていないんです）。家族の会話って、とても大切です。おかげで、楽しいお正月を過ごすことができました。

小学生の税に関する絵はがきコンクール 秋田銀行に展示中



能代法人会主催「小学生の税に関する絵はがきコンクール」に応募した6年生の作品が、秋田銀行二ツ井支店に展示されています。3月2日（木）までの展示ですので、みなさんぜひご覧ください。